

東京株式市場におけるカーボンプレミアム

五島 圭一 CMA
八木 厚樹

目次

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. はじめに | 5. GHG排出量指標に基づくロング・ショート戦略 |
| 2. GHG排出量データ | 6. パリ協定採択の影響 |
| 3. GHG排出量と株式リターン | 7. まとめ |
| 4. カーボンプレミアムとリスクファクター | |

本稿では、東京株式市場における株式リターンとGHG排出量との関係を分析した。分析の結果、排出強度のスコープ1において負のプレミアムが観察されることが示された。そして、この負のプレミアムは他のリスクファクターを考慮しても存在することが示された。この結果は米国株式市場とは大きく異なるものであり、東京株式市場ではカーボンプレミアムに対して異なる価格形成がなされている可能性を示唆している。なお、本稿は本文と補論で構成されており、詳細を補論で述べている部分については本文中に注が付けられている。

1. はじめに

気候変動対策は持続可能な開発目標（SDGs）の17目標の一つに掲げられ、地球温暖化の主要因とされる温室効果ガス（GHG）、とりわけ二酸化炭素（CO₂）の削減は目下世界中の関心事であ

り、パリ協定をはじめとする国際的な合意形成がなされるとともに、先進国を中心に推進されている。このような世界的な潮流の下、わが国においても2020年10月には2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを政府が表明するなど、本邦企業に対してもGHG排出量削減に対する社会



五島 圭一（ごしま けいいち）

三菱UFJ銀行産業リサーチ&プロデュース部 調査役。早稲田大学産業経営研究所 招聘研究員。2012年慶應義塾大学経済学部卒業。2017年東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻博士後期課程修了。博士（工学）。日本銀行金融研究所、早稲田大学商学部講師などを経て、2022年5月より現職。2015年度証券アナリストジャーナル賞受賞。



八木 厚樹（やぎ あつき）

アセットマネジメントOneソリューション戦略運用グループ クオンツ運用担当ファンドマネジャー。2014年一橋大学大学院修士課程修了。同年、DIAMアセットマネジメント（現・アセットマネジメントOne）入社。機関投資家営業企画部を経て、2017年4月より現職。2021年一橋ビジネススクール金融戦略・経営財務プログラム修了。